

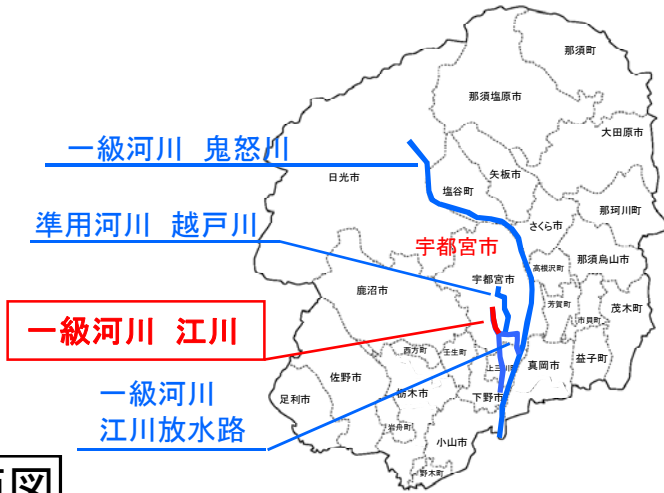
河川事業の再評価概要書

()は、前回再評価時

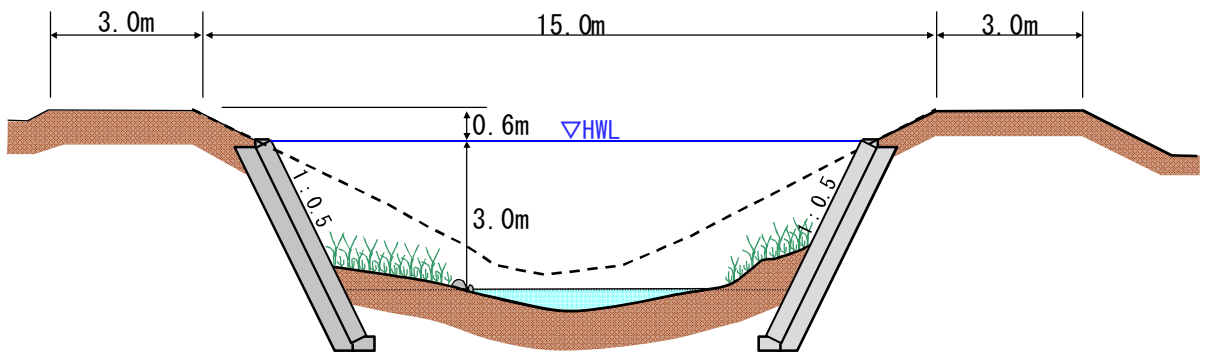
		番 号	111	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>えがわ</small> 江川		事業箇所名	<small>うつのみやし</small> 宇都宮市
事業区間	<small>うつのみやにしおきべまち</small> 宇都宮市西刑部町地先～ <small>うつのみやしもぐりまち</small> 宇都宮市下栗町地先		事業延長	4,654m
平成9年度事業化			平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	(H9～H25) H9～H27	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[7.4(7.4)億円] 26.5(26.5)億円		進捗率	[100%]
			[うち用地補償費]	[7.4億円]
			既投資事業費	20.5億円
				77%
事業概要				
<p>江川は、宇都宮市の北東部に源を発し、宇都宮市の東部市街地を流下し、上三川町を経て、下野市で鬼怒川に合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
計画区間の沿川では、土地区画整理事業（下栗・平松本町地区、A=45.7ha）が実施中であり、宅地化が進んでいる。				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果				
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
(1) 事業全体	B/C=3.5	827.3億円	235.3億円	[L=4,654m 区間]
(2) 残事業	B/C=8.1	47.5億円	5.9億円	[L=1,854m 区間]
2 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
事業延長4,654mのうち、下流端から支川 <small>なつぽかわ</small> 奈坪川合流点までの2,800mの整備が完了している。				
2 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
河川工事で発生した土砂は、他事業へ流用し、工事費の縮減を図っている。				
2 代替案立案等の可能性				
計画区間の上流部は、市街地で人家が連担しており、遊水地等の適地がないこと、また用地買収が完了していることなどから、現計画が妥当である。				
事業の対応方針（案）		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



計画流量	60m ³ /s
現況流下能力	概ね45m ³ /s

概要図

